



わかむぎ

No.9 令和5年12月20日 発行/古屋正樹



寒くなったり
暖くなったり
富士山も忙しそうです

～充実した冬休みに～

昨年の今頃は、新型コロナウイルス感染症第8波の最中でした。新型コロナウイルスに対して、世の中全体がまだまだピリピリしている頃だったと記憶しています。早いものであれから1年、現在では新型コロナウイルスもある意味一般的になり、特別視することもなくなりました。時の流れは速く、まさに「光陰矢の如し」です。

今学期の授業日数は81日間。2学期は1年で1番長く、そして、**中身の濃い学期**とよく言われます。その証拠に、生徒が一番楽しみにしている「若麦祭」があり、熱く燃えた2日間が思い出されます。ここ数年は新型コロナウイルスの影響を受け、制限の多い各行事でしたが、2学期が通常に実施できたことは何よりの**喜び**であり、生徒たちが元気に登校し、毎日の活動に精一杯取り組めたことが何よりの**収穫**です。各行事や日々の授業・活動は小さくとも、確実に生徒一人一人の**財産**になってくれたと信じています。そして、1学期よりも一回り大きく**成長**したと感じています。

さあ、いよいよ冬休み。生徒の皆さん（特に1・2年生）は、きっとウキウキワクワクしていることでしょう。短い冬休みではありますが、お正月や年末年始といった「冬の風物詩」を大いに楽しんでもらいたと思います。そして、3年生は、自分の大切な進路の実現に向け、とことん勉強に励んでほしいと思います。**自分の努力で夢の第一歩をつかみ**取ってほしいと思います。「有意義な冬」にしてください。

それでは、1月9日の3学期始業式に、元気な(^_^)\(^_^)/(^_^)で会いましょう。



～学校の様子や世相から～



PTA の親睦

11月18日、PTA 保健体育部による「球技会」と、PTA 研修部による「研修会」が実施されました。大勢の保護者の皆さんと教職員とで楽しく、充実した親睦会となりました。

球技会では、グランドゴルフに興じ、大きな声で笑ったり、ボールの行方に一喜一憂したりしました。また、研修会では、クッキングとヨガに挑戦し、おいしい料理に舌鼓を打ったり、ストレッチの気持ちよさにうっとりしたりしました。

短い時間ではありましたが、和気藹々とした、楽しい時間となりました。日頃のストレス発散になったと同時に、会話も弾み、相互の親睦も深められました。参加された皆さんの「笑顔(^_^)」が、とても印象的な1日でした。PTAはこんな楽しい会です。来年度はさらに工夫を凝らした中で、たくさんの方の参加をお待ちしています。



今年の漢字 2023

12月12日、今年の世相を表す漢字1字が「税」と発表されました。個人的には、今年もまた世界が戦争に悩まされた1年だったことから、昨年に引き続き「戦」かなと予想していましたが、意外にも「税」が第1位となりました。

よく考えてみると、国会では、1年を通して増「税」の議論が活発に行われていました。国策に必要な財源を賄うため、生活に直結する増「税」の行方が注目された1年だったからかもしれません。因みに、2位は僅差で「暑」、3位は「戦」でした。異常なまでの暑かった夏、止まない世界の紛争を反映した漢字が上位に選ばれたようです。

年末恒例のこの行事は、京都・清水寺の舞台で貫主(僧侶の代表者)が、大きな紙に、太い筆で揮毫することでも知られています。一見、清水寺が主催者となっている行事と思いきや、実は、日本漢字能力検定協会(漢検)が主催している企画であることは、あまり知られていません。

年の瀬だからこそ、この1年をゆっくりと振り返り、来る令和6年が明るいニュースで満ちあふれることを願いたいと思います。それでは、よい年をお迎えください。

二十四節気「冬至」

今月22日は、二十四節気という「冬至」です。冬至は、ご存じの通り1年で最も昼の短い日になります。実際に、甲府での日照時間は9時間半程になり、夏至(6/21)のそれが14時間余りですから、およそ5時間短くなります。この頃には、ゆず湯に入ったり、カボチャを食べたりといった昔からの習わしもあり、夏からの疲れた体と冬の寒さに向かう体へのいたわりの意味が込められています。さしずめ、1年間頑張ってきた心と体へのご褒美といったところでしょうか。